

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：厳寒期どりネギの優良品種の選定（第 66 回全日本野菜品種審査会）			
〔要約〕 厳寒期どりのネギ品種として、草姿がコンパクトで曲がり少なく、そろいの良い「No. 1102」等の 5 品種が優れる。			
フリーワード [※] ネギ、品種、厳寒期どり、野菜品種審査会			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室	
	協力機関	（一社）日本種苗協会、JA ちばみどり、海匠農業事務所	
実施期間	2015 年度		

〔目的及び背景〕

千葉県におけるネギ生産額は 170 億円（平成 26 年）であり、1～4 月には東京都中央卸売市場における占有率が全国で最も高い主要産地となっている。特に出荷量のピークとなる 1～2 月の厳寒期どりでは、耐寒性に優れ、台風等の影響で曲がりにくい品種の選定を産地から求められている。そこで、厳寒期に安定して収穫ができ、耐寒性や品質、収量にすぐれた品種の選定を行う。

なお、本試験は第 66 回全日本野菜品種審査会（ネギの部）として実施する。

〔成果内容〕

- 1 第 66 回全日本野菜品種審査会において審査された 20 点のうち、入賞したのは、「No. 1102」、「K4-043」、「No. 1101」、「龍ひかり 2 号」、「SK2-038」の 5 品種である。
1 等特の等級に選ばれたのは、草姿が特にコンパクトで曲がり少なく、そろいの良い「No. 1102」である（表 1、写真 1～3）。
- 2 1 品種当たり 2 m² の収穫調査から推定される規格別出荷箱数は、いずれの入賞品種も 600 箱/10a 以上で多収である。特に「No. 1102」、「龍ひかり 2 号」、「SK2-038」は L の発生率が高く、曲の規格の発生が少ない。「K4-043」は、2 L の発生率が高く、多収である（表 2）。

〔留意事項〕

〔普及対象地域〕

県内のネギ産地

〔行政上の措置〕

〔普及状況〕

「No. 1102」、「K4-043」、「No. 1101」、「SK2-038」は、各育成元で育成を進めている状況である。

[成果の概要]

表 1 審査結果

順位	出品番号	得点			等級	品種名	出品社
		立毛	収穫物	合計			
1	4	85	256	341	1等特	No. 1 1 0 2	タキイ種苗(株)
2	3	84	250	334	2等	K 4 - 0 4 3	(株)サカタのタネ
3	16	80	248	329	2等	No. 1 1 0 1	タキイ種苗(株)
4	15	76	246	322	3等	龍ひかり2号	横浜植木(株)
5	14	78	242	321	3等	S K 2 - 0 3 8	(株)サカタのタネ
6	12	82	236	318			
7	11	82	235	317			
8	5	74	242	316			
9	10	81	235	316			
10	8	79	236	315			
11	17	77	236	313			
12	7	77	236	313			
13	20	84	226	310			
14	2	74	234	308			
15	18	72	236	308			
16	9	74	222	297			
17	19	74	222	295			
18	6	67	221	288			
19	1	70	210	280			
20	13	72	208	280			

注 1) 配点は立毛審査 100 点、収穫物審査 300 点の合計 400 点満点である

2) 平成 27 年 5 月 22 日に 200 穴セルトレイへ 3 粒播種し、パイプハウスで育苗した。7 月 13 日に畝間 100cm、株間 7 cm/3 株 (42,857 株/10a) として、溝底に定植した。基肥として、ひかりねぎ美人 A (12-12-6) を 40kg/10a (植え溝)、追肥として、ひかりねぎ美人 A を 10 月 5 日に 30kg/10a、11 月 24 日に 20kg/10a を施用した。培土は、9 月 11 日、9 月 24 日、10 月 5 日、10 月 19 日、11 月 6 日、11 月 24 日、12 月 7 日 (止め土) に行った。審査は、平成 28 年 1 月 15 日に 17 人の審査員により行われた

3) 栽培場所 東総野菜研究室露地圃場 (旭市)、土壌 淡色黒ボク土

4) 気象概況 8 月第 5 半旬～9 月は低温傾向となった一方で、11 月以降は温暖な条件となった。温暖ではあったが、12 月以降には霜柱の発生する日もあり、葉身の萎れが見られるようになった。



写真 1 「No. 1102」

注) 敷物の横線は約 15cm 間隔 (以下の写真も同様)

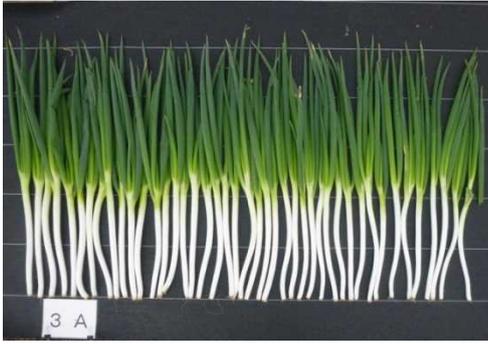


写真2 「K4-043」



写真3 「No. 1101」

表2 規格別出荷箱数

出品番号	品種名	規格別出荷箱数 (箱/10a)						合計
		2 L	L	M	曲	B		
4	No. 1102	83 (13)	522 (83)	15	7	0	628	
3	K4-043	350 (35)	433 (44)	0	211	0	994	
16	No. 1101	117 (15)	578 (72)	20	85	0	799	
15	龍ひかり 2号	17 (2)	833 (94)	15	25	0	890	
14	SK2-038	17 (2)	856 (87)	59	53	0	984	
12		67 (9)	522 (70)	0	153	0	742	
11		50 (5)	644 (68)	6	241	0	941	
5		50 (5)	833 (90)	0	46	0	929	
10		150 (26)	278 (47)	0	158	0	586	
8		100 (12)	711 (83)	7	37	0	855	
17		17 (2)	711 (76)	7	197	3	935	
7		283 (24)	789 (68)	24	60	5	1,161	
20		100 (15)	444 (69)	17	74	11	646	
2		233 (19)	800 (64)	194	8	12	1,247	
18		0 (0)	889 (81)	71	140	3	1,103	
9		400 (24)	778 (47)	0	482	0	1,660	
19		117 (10)	722 (65)	50	228	0	1,117	
6		217 (21)	678 (66)	130	0	0	1,024	
1		17 (2)	544 (58)	0	375	0	936	
13		0 (0)	700 (53)	0	611	0	1,311	

注1) () 内は、合計に対する2 L及びLの比率(%)とした

2) 千葉県園芸作物標準出荷規格に基づき、箱当たり5 kgかつ正品は定数詰め(2 L:30本、L:45本)として算出した。葉鞘径は2 L:20~25mm、L・曲:15~20mm、M:10~15mm。曲は、2 cm以上4 cm未満の曲がりが発生しているもの。軟白長27cm以上、ただしLは30cm以上、27cm未満は規格外

[発表及び関連文献]

(一社) 日本種苗協会、審査会報告、種苗界、5・6月合併号、2016年

[その他]